

令和6年度
事業計画書



社会福祉法人清章福祉会

令和6年度 事業計画書目次

社会福祉法人清章福祉会	1-10
特別養護老人ホーム清住園	11-12
地域密着型特別養護老人ホーム清住園	13-14
清住園ショートステイサービス	15-16
清住園デイサービスセンター	17-18
清住園第二デイサービスセンター	19-20
エルグラン清住園デイサービスセンター	21-22
清住園訪問看護ステーション	23-24
居宅介護支援事業所清住園	25-26
姫路市四郷・東地域包括支援センター	27-28

社会福祉法人清章福祉会

中・長期 事業計画

社会福祉法人清章福祉会
特別養護老人ホーム清住園
令和6年4月1日

理念

おもてなしの心で介護
ご利用者の立場で介護
清潔な環境
地域との共生・貢献

運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。
明るく家庭的な雰囲気を持ち、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。
他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

中・長期事業計画策定のビジョン

団塊の世代の多くが後期高齢者になる 2025 年を間近に迎え、当地域の少子高齢化は予想より急速に進み老々介護や独居高齢者世帯の増加が著しく、高齢者の生活環境は益々厳しくなっている。しかし、高齢者福祉業界は国家の財政的問題が厳しさを増す中、介護報酬は下がり介護人材不足が一層深刻になっている。その様な社会情勢の中で、持続的に安定した地域の高齢者福祉に資する法人として存在できるよう中・長期事業計画を策定する。

1、中・長期事業計画の期間 (2019年～2029年まで)

- 長期事業計画の実施は10年間とし、3年ごとに中期事業計画として見直しを行うものとする。
ただし、関係法令の改定、介護報酬の改定があった場合はこの限りではない。
- 中・長期事業計画を実現するための具体的な事業計画は1年間とし、毎年度作成する。

2、中・長期事業計画の目標

長期目標 (2029年まで)

社会福祉法人として、利用者にとっての価値(利用価値)・社会や地域にとっての価値(社会的価値)・職員からみた価値(所属価値)の3つの価値を念頭に、バランス良く運営する。

- 地域で暮らす誰もが「清章福祉会に相談に行きたい」と思ってもらえる法人となる。
- 地域の高齢者の誰もが「清章福祉会のサービスを受けたい」と思ってもらえる法人となる。
- 福祉関係者の誰もが「清章福祉会で働きたい」と憧れをもってもらえる職場にする。

中期目標 (2026年まで)

- 地域ニーズにより認知症高齢者グループホームを開設し、安定した経営軌道に乗せる。
- 法人全体で利用者の個別ニーズを共有し、個別ケアを推進することで顧客満足度を上げる。
- 人材確保および人材の育成のため人事制度の抜本的な見直しを積極的に行い、外国人労働者を

- 含めた有能で熱意のある人材が当法人を目指すような職場環境の整備を行う。
- 地域の医療資源の脆弱さをカバーし、地域医療と介護の連携を強化する。
 - 各事業所の稼働率を高め事業経営の安定化を図り、法人の自立経営を促進する。

3、中・長期事業計画の内容

目標を達成するための重点項目として下記の5つを掲げ、基本内容を策定する。

- 1) 介護、生活支援サービスの充実
- 2) 専門性の高いケアの提供
- 3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- 5) 地域福祉の推進

<基本計画の内容>

1) 介護、生活支援サービスの充実

(1) 利用者の主体的な生活の実現

- 利用者の個別ケアを推進する。
- チームケアを向上させるための取り組みに向けて部署内で研鑽する。
- 法人全体で報告・連絡・相談の徹底を図り顧客満足度を上げる。

(2) 食事サービスの充実

- 利用者に喜ばれる食事サービス（イベント食も含む）を充実させる。
- 季節感溢れる「おやつ／食事レクリエーション」を実施。

(3) サービス内容の標準化

- 各種マニュアルの見直しを3年ごとに実施し活用する。
- 各部委員会の活動を活発化し職員の意識を向上させる。

(4) 地域包括ケアシステムの推進

- 四郷・東地域包括支援センターと清住園居宅介護支援事業所が中心となり、法人の在宅サービスを活用して法人全体で地域包括ケアシステムを構築する。
- デイサービスとショートステイサービスを一体化させ、大規模多機能施設として法人内システムを機能させる。

2) 専門性の高いケアの提供

(1) 認知症ケアの充実

- 認知症高齢者のケアを充実させるため、認知症高齢者グループホームを創設する。
- 認知症関連研修を定期的に計画し介護職員のスキルアップを図る。
- 居宅・地域包括を中心に認知症高齢者に対応する相談業務を充実させる。

(2) 医療ケアの充実

- 介護職員による喀痰吸引体制を構築するため資格取得を支援する。
- 訪問看護ステーションの活用を法人全体で支援する。

- (3) リハビリテーションの充実
 - 機能訓練のシステムを強化するため理学療法士の採用を積極的に模索する。
 - 石川病院からの理学療法士を活用し、施設での定期的な研修を実施する。
- 3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進
 - (1) 各事業の事業目標・指針を明確にし、健全な事業運営の徹底
 - 事業基盤を拡大するために認知症高齢者グループホームを創設する。
 - 各事業の事業目標・指針を明確にし、理事会・評議員会にて承認を得る。
 - 組織統治（ガバナンス）を確立し、健全な事業運営に努める。
 - (2) リスクマネジメント・危機管理体制の強化
 - 安全衛生委員会を中心としたリスクマネジメント体制を整備し、ローリスクを心がける。
 - 委員会活動を強化し危機管理体制を整備し安全安心の施設運営を目指す。
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
 - (1) 人材確保のための環境整備
 - 高賃金体制を整え、職員の収入の安定を図る。
 - ICT化の推進を図り業務の効率化を図る。
 - ライフワークバランスを踏まえた労働環境を整備し、働きやすい職場にする。
 - 職員のメンタルヘルスクエアを充実させる。
 - 福利厚生を充実させる。
 - (2) 人材育成のための環境整備
 - キャリアパスを含む職員育成制度を確立する。
 - 運営の中核を担う人材及び管理職の育成
 - (3) 外国人労働者・無資格者・高齢者の雇用を促進する。
 - 外国人・無資格者が働きやすい環境を整備する。
清住園寮を借り上げ提供する。
介護技術のチューター制度（既存）を充実させる。
 - 高齢者の雇用をシルバー人材センター等を活用して促進する。
- 5) 地域福祉の推進
 - (1) 地域の多様な福祉ニーズへの対応
 - 地域の社会的ニーズを踏まえ、認知症高齢者グループホームを創設する。
 - 個別ニーズに合わせた福祉サービスを法人全体で対応できるようにする。
 - (2) 地域公益事業の推進
 - 「知事認定地域サポート施設」となり地域公益活動事業を積極的に実施する。
 - 地域住民が主体的に取り組む地域における活動を支援する。
 - (3) 防災拠点としての機能強化
 - 策定したBCPに則り、研修・訓練を実施し、有事に備える。
 - 地域の防災拠点となれるよう食料・防災グッズ等を備蓄する。
 - 福祉避難所がいつでも開設できるように整備する。

令和6年度（2024年度）の事業計画

法人目標

- ① 研修を積極的に受講し専門性を向上させる。
- ② ご利用者様の個別ニーズを傾聴し、利用者満足度を上げる。
- ③ 認知症高齢者グループホーム創設準備を計画的に遂行する。
- ④ ICT化を推し進め生産性向上に努める。

事業目標（財務の視点）

- ① 部署毎に毎月の稼働率と収支予算を立て、それに基づいて計画的に事業を運営する。
- ② 施設ケアを充実させ、入院を減らし、空床0を目指す。
- ③ 介護保険制度改正（介護報酬改正）による加算要件を精査し、できるだけ多くの加算を取る。
- ④ 法人内で通所サービス・ショートステイサービスの利用者を円滑に循環させ、大規模多機能施設として機能できるよう部署間横断で協力体制を組む。
- ⑤ 各部署間で利用者のニーズを共有し、必要なサービスを法人内で提供できるようにマネジメントし、法人全体の収入アップを図る。
- ⑥ ICT化により業務の効率化や移動時間の短縮等を図り、残業を減らして人件費を削減する。
- ⑦ 新卒および外国人労働者を積極的に採用し認知症高齢者グループホーム開設の人材を確保する。
- ⑧ 認知症高齢者グループホームの入居者の獲得に努力する。

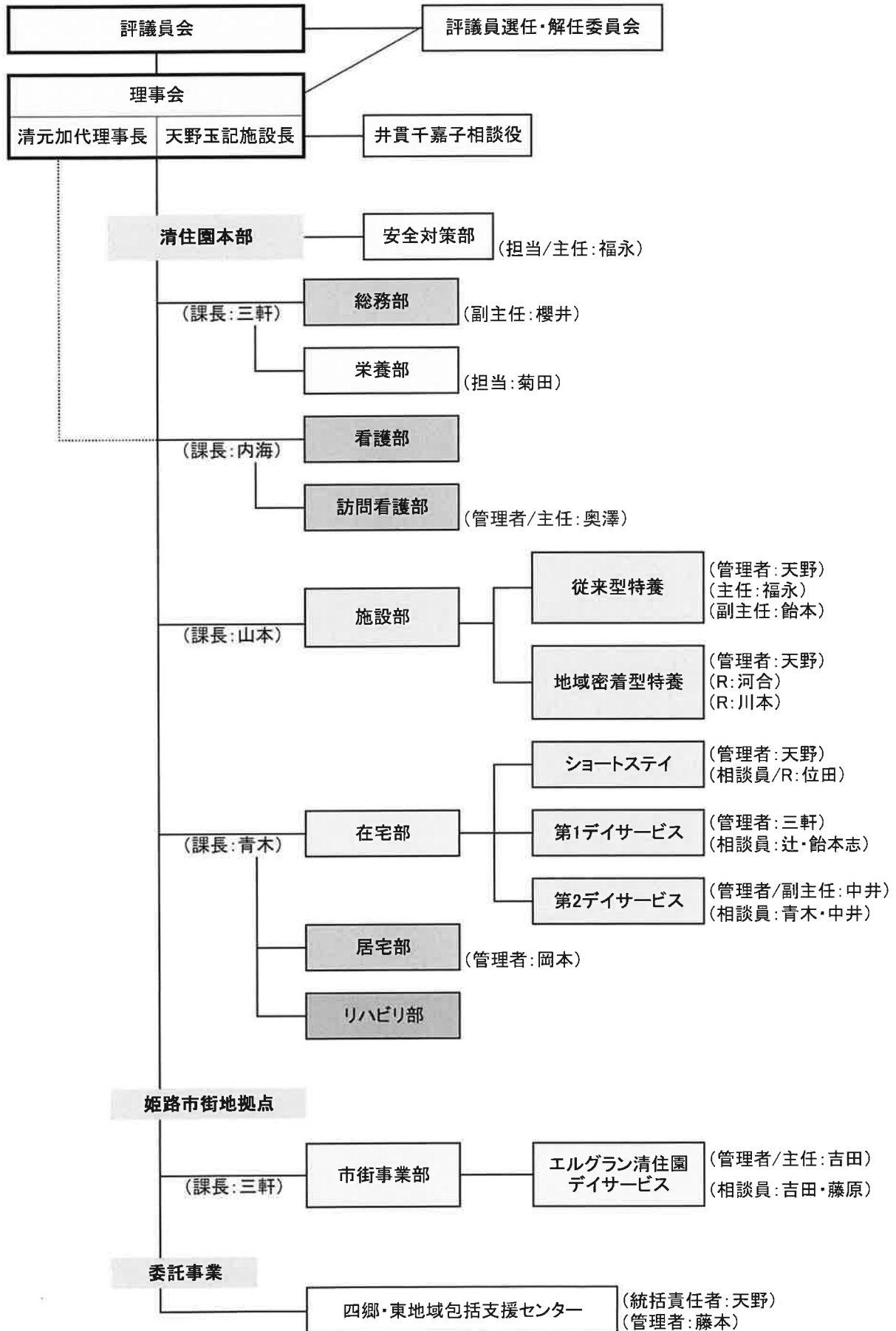
基本方針

- ① 利用者の健康管理や事故防止に努め、安全で安心な生活を提供する。
- ② 社会の変動に対応し地域・利用者ニーズにあったサービスを提供し安定した経営をする。
- ③ 労働環境を整備し、働きやすい職場にする。

令和6年度(2024年度)「地域における公益的な取り組み」実施計画

- 1, 地域住民の為に認知症高齢者グループホームの開設準備をする
- 2, 地域高齢者への介護予防支援
 - ・「いきいき百歳体操」の会場として多目的ホールを提供(週2回、地域高齢者20名程度)
- 3, 業務継続計画(BCP)に則り、地域住民と発災時の防災訓練を実施する
 - ・地域住民参加の防災訓練を企画
 - 姫路東消防署飾東出張所・地域住民の参加を呼びかけ合同で防災訓練を実施
 - 消防署員による防災研修会を開催
 - 清住自治会役員と清住園防災委員会による発災時の協力体制検討会を開催
 - ・福祉避難所設立準備
 - 備蓄食料の確保
 - 発災時の給食提供方法の確認
 - 発災時の連絡体制の整備
- 4, 地域の人材育成および啓蒙活動
 - ・特定技能外国人労働者を雇用(地域に借上げの清住園寮を設置)
 - ・高齢者、無資格者の人材の雇入れを積極的に実施
 - ・トライやるウィークの受け入れ
- 5, 地域行事への参加および地域住民との交流
 - ・清住盆踊り(令和6年8月14日):清住自治会主催
 - 特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
 - ・清住園ふれあい祭り:法人主催
 - 地域自治会と共に地域住民の祭りとして開催
 - みどり保育園・谷内小学校・城山中学校の生徒によるボランティア参加
 - 谷内公民館活動グループのボランティア参加
 - 谷内消防団による駐車場誘導および模擬店運営
 - 自治会役員を来賓として招待
 - 参加者全員対象の抽選会を開催
 - ・清住ゑびす祭りに協力(令和7年1月10日):清住自治会主催
 - 祭りの準備等に協力をする
 - ゑびす祭りに参加
 - ・とんど焼きに参加(令和7年1月吉日):清住自治会主催
 - 特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
 - ・小学校・中学校の生徒との交流会
 - ・施設内行事の広報および参加を呼び掛ける
 - ・2025年に向けて清住園創設30周年記念行事の準備をする

清章福社会組織図（2024年4月1日～）



<会議>

会議名	内 容	頻度	参加者
職員会議	全職員対象研修の実施	月 1 回	全職員
リーダー会議	各部署予定・収支・運営等の議題検討	月 1 回	各部署リーダー
幹部会議	運営に関する議題検討	月 1 回	管理職
従来型 ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1 回	施設部職員
ユニット ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1 回	施設部職員
デイ会議	予定・議題検討	月 1 回	在宅部職員
第二デイ会議	予定・議題検討	月 1 回	在宅部職員
エルグランデイ会議	予定・議題検討	月 1 回	エルグラン職員
居宅会議	情報伝達・勉強会	週 1 回	居宅部職員
総務部会議	情報共有・検討・勉強会	月 1 回	総務部職員

<委員会>

委員会名	内 容	頻度
虐待防止・身体拘束 適正化検討委員会	職員研修、アンケート集計、身体拘束者の記録点検、 勉強会	3 カ月に 1 回
褥瘡対策・栄養 委員会	職員研修、事例対応策、発生時の現状と処置の周知、 カンファレンス、意見集約	月 1 回
献立検討委員会	献立検討、食事レク、行事企画、カンファレンス、 意見集約	月 1 回
看取り介護委員会 介護技術向上	職員研修、活動報告、看取り開始時の準備、カンフ ァレンスの実施、意見交換	3 カ月に 1 回
感染症対策委員会	職員研修、感染対策マニュアルの改訂	3 カ月に 1 回
安全衛生委員会	職員研修、労働環境の整備、安全パトロール、職員 健康管理、労働災害防止対策、ヒヤリハットの分析、 事例検討、事故発生場所の把握・対応	月 1 回
事故・苦情防止検 討委員会（施・在）	何でも報告書、ヒヤリハットの集計・分析、事例検 討、事故発生場所の把握・対応	月 1 回
防災委員会 BCP 委員会	防災機器の点検、避難訓練、緊急連絡網の整備 BCP の策定、訓練、評価	3 カ月に 1 回
広報・採用委員会	広報ほほえみ作成、ホームページの管理、ブログ更新、 合同企業説明会の企画・参加、施設内説明会の企画・参加、	月 1 回

	学校挨拶まわり、新卒ナビサイト管理、採用ツールの見直し	
研修委員会	年間研修計画の立案、職員研修講座の運営・管理、職員会議の研修企画、研修アンケートの集計・分析	月1回
サービス向上委員会	ホスピタリティの向上、接遇、業務改善、アンケート集計	3カ月に1回
事故・苦情対策委員会	事故・苦情内容に関する報告・対策	年1回
入所判定委員会	入所の検討・決定	月1回

<研修>

研修講座	対象者・内容	頻度
新人研修	新卒採用者・(下半期)中途採用者を対象	4月
中途採用者研修	(上半期)中途採用者を対象	10月
急変時対応・ターミナルケア	介護職員	年2回
人体・医療知識について	全職員	年1回
クレーム・苦情対応	施設・看護部職員	年1回
クレーム・苦情対応	在宅・総務・栄養・訪看・市街・包括職員	年1回
多職種連携	全職員	年1回
自立支援について	全職員	年1回
コーチング	全職員	年2回
手話	全職員	年2回
人材育成	全職員	年1回
社会保険・年金制度	全職員	年2回
リフレクティングチーム研修	全職員	年1回
部署体験	全職員	希望者
誤嚥防止研修(外部講師)	介護職員	年2回
介護技術研修(外部講師)	介護職員	年2回

総務部

1. 基本方針

地域に信頼される法人として活躍するために関係法令を遵守し、積極的に情報公開を行い、働きがい・働きやすい職場作りを推進し、情報発信をしていく。各事業との連携を密にし、各種管理業務の体制強化に努める。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- ・法人内外の情報収集・伝達・調整・発信
- ・新規事業の開設準備・支援
- ・既存業務の効率化

<経営目標>

- ・新規事業、既存事業の人材確保による運営の安定化
- ・各事業の情報収集、分析により経営効率を高める
- ・各事業所の営業、PR活動を支援し、利用者獲得につなげる
- ・コストの見える化による削減

<人材育成>

- ・業務担当の見直しにより、個々の業務の幅を広げてスキルアップにつなげる
- ・総務部会議を通して意見交換・勉強会等を行い、情報共有・課題解決につなげていく

<地域福祉活動>

- ・地域の方が施設設備を気軽に使用できるように広報活動を行う
- ・防災対策を強化し、非常時の福祉避難所拠点であることを周知していく

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

介護技術研修（外部講師派遣）180,000円

PC入替費用500,000円

栄養部

1. 基本方針

- ・日々の食事観察に注力し、入所者一人ひとりに合った栄養計画及び、経口維持計画の作成を通し、経口摂取、適正体重の維持・改善を目指す。
- ・安心安全な食事提供に努め、季節ごとの食事（おやつ）イベントを企画し、利用者が食事を楽しめるよう工夫する。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- ・他職種と連携し利用者にとって適切な栄養管理に努める。
- ・食事（おやつ）イベントを計画・実施し、食事の楽しみを作る。
- ・HACCPに基づいた衛生管理に努め、安全な食事提供を行う。
- ・BCP活用の下、非常食の手配を行う。

<経営目標>

- ・他部署と連携し、新規入所や入退院を円滑に受け入れる食数確保に尽力し、収益性の向上に努める。
- ・厨房運営に係るコストの削減
- ・デイサービスの集客につながる食事（おやつ）イベントの実施

<人材育成>

- ・毎日のミールラウンドを通して、他職種と一緒に利用者の様子を観察し、身体状況や食環境について検討し、食への関心・知識の向上に努める
- ・厨房スタッフに衛生研修を毎月繰り返し行い、スキルアップに努める。

<地域福祉活動>

- ・福祉避難所としての備蓄食料の管理

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

グリストラップ清掃	年3回	92,000円
エース消毒	年2回（害虫発生状況により随時依頼）	6,600円
保管庫用コントローラー		68,000円
食器の買替（従来・ユニット・ショート・デイ・第二デイ）		400,000円
非常食		410,000円

特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を作り、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める。
- ・新規事業と既存事業の安定化を図る為、人材育成を推し進める。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る。
- ・他部署・提携病院との連携を図る。
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす。(看取りの充実)
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ。

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、多職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように協力病院と連携し、年間平均稼働率95%を目指す。
- ・業務の効率化を図り残業を減らす。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・感染症予防を徹底しボランティア及び実習生等の受入れを行う。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。(新型コロナウイルス感染症等の状況を考慮して実施)

3. 年間行事・行事食予定

月	年 間 行 事
4月	花見
5月	父母の会、家族会総会
6月	外出（喫茶）
7月	そうめん流し
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	外出（コスモス鑑賞）
11月	ふれあい祭
12月	クリスマス会
1月	おせち、正月行事
2月	節分（豆まき）
3月	外出（喫茶）
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸クラブ ※上記予定については、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から中止する場合がある

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

地域密着型 特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の一人一人の生活習慣や好みを尊重し、利用者の生活に沿ったケアの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を持ち、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める。
- ・新規事業と既存事業の安定化を図る為、人材育成を推し進める。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る。
- ・他部署・提携病院との連携を図る。
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす。(看取りの充実)
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ。

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、多職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように努めることにより、年間平均稼働率 **95%**を目指す。
- ・業務の効率化を図り残業を減らす。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生等の受け入れを積極的に行う。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。(新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して実施)

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事
4月	花見
5月	父母の会 家族会総会
6月	外出
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	外出（各地域秋祭り コスモス）
11月	ふれあい祭
12月	クリスマス会 忘年会
1月	正月行事
2月	節分(豆まき)
3月	外出
備考	ボランティア行事（不定期） 外出（喫茶 買い物） 誕生日会 ※上記予定については、新型コロナウイルス感染症等の予防の観点から中止する場合がある

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園ショートステイサービス

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める。
- ・新規事業と既存事業の安定化を図る為、人材育成を推し進める。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る。
- ・他部署・提携病院との連携を図る。
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす。(看取りの充実)
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ。

<経営目標>

- ・SNSを活用した新規利用者の確保と、年間平均稼働率94%の維持向上を目指す。
- ・新規利用者の受け入れ体制の構築と各部署信頼関係の再構築。
- ・デイサービスからの移行者に合わせたレクリエーション活動の充実。
- ・胃瘻造設者等の重度利用者の受入れを行い稼働率の向上を図る。

<人材育成>

- ・相談員育成の為、チューター制度を活用することでスキルアップを目指す。
- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る。
- ・職員間・部署間の活発な意見交換を可能にするコミュニケーションの場の提供。

<地域福祉活動>

- ・地域行事に参加し、相談しやすい環境を整える。

3. 年間行事・行事食予定

月	年 間 行 事
4月	花見
5月	父母の会 家族会総会
6月	外出（喫茶）
7月	そうめん流し
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	外出（コスモス鑑賞）
11月	ふれあい祭
12月	クリスマス会
1月	おせち 正月行事 正月レクリエーション
2月	節分（豆まき）
3月	外出（喫茶）
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 外食ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 園芸クラブ（毎月） 音楽クラブ（毎月） 書道クラブ（毎月） 美容レク（不定期） おやつレク（毎月） ※上記予定については、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から 中止する場合がある

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

従来型に準ずる

清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅の虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種サービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に、家族の方の精神的・身体的負担の軽減を図る。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携を図り、現行サービスを推進しつつ介護予防を取り組んだ質の高いサービスを提供していくよう努める。
- ・外部の移動販売事業等を誘致し、積極的な社会的活動を行い生活機能の向上を図る。
- ・リハビリテーションサービスの拡大を図り、内外に周知するとともに、リハビリ部と連携しPDCAサイクルの体制強化に努める。

<経営目標>

- ・営業活動を積極的に行い新規利用者の獲得を図りつつ、第二デイサービスセンター・エルグランデイサービスセンター・ショートステイサービスへの移行にも柔軟に対応しながら売上の向上に繋げる。
- ・利用者様及び利用者家族様に積極的な利用をして頂けるように、報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を構築する。受入れ体制を円滑に行えるよう各部署との連携を図る。
- ・個別機能訓練・運動器機能向上の充足を図り、心身共に充実できるサービスを提供することで、利用者満足度と介護予防の両立に努める。
- ・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間	
基本事業	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～15:00	
予防通所介護事業	入浴	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	運動器機能向上	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護事業	入浴	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	257	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用者定員：40名

○稼働率

- ・1日平均30名以上 月平均稼働率 75%

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域（加西市、神吉町、志方町等を重点に置く）の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月初めに、翌月のカレンダーに「空き情報」を掲載したチラシを地域の居宅事業所へ郵送する。
- ・当事業所の営業用広報新聞等を定期的に更新し、各事業所への営業訪問を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に研修に参加し、同じ部署の相談員へ積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・地域住民との交流を図る為、移動販売などを企画し、施設の開放を行う。

3. 年間行事・活動予定

※新型コロナウイルス感染予防の為変更の可能性あり

月	年間行事	行事食
4月	花見会 花見喫茶 花見ドライブ	花見弁当
5月	新緑ドライブ	行楽弁当
6月	あじさい鑑賞ドライブ トライやるウィーク	おはぎ
7月	谷内小交流会（七夕）	七夕料理、そうめん流し
8月	夏祭り ぶどう狩り（お盆）	うなぎ（土用の丑）
9月	敬老会	祝い膳、おはぎ
10月	コスモス鑑賞ドライブ 芋ほり	スイートポテト
11月	紅葉ドライブ 干し柿	干し柿
12月	クリスマス会 忘年会	クリスマスケーキ
1月	初詣、絵馬作り 新年会	白玉ぜんざい
2月	節分 豆まき 梅ドライブ	恵方巻き、バレンタイン
3月	雛祭り 菜の花鑑賞ドライブ	おはぎ
備考	※衣料販売シゲノブ（随時）、移動スーパーマルシェ、絵手紙教室、地域ボランティア（随時）、移動パン販売まほろば、菜の花（クッキー、雑貨）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園第二デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種サービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に、家族の方の精神的・身体的負担の軽減を図る。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- ・ 利用者の重度化に対応する為に介護力の向上を図り質の高い介護サービスが提供できるよう努め感染症対策を強化し安定した利用者数及び稼働率での営業を行っていく。
- ・ リハビリ部と協同連携し、運動器機能向上加算及び個別機能訓練加算を通して、在宅での生活機能の維持向上を図る。

<経営目標>

- ・ 利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように、報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を築き、各種プログラム作りや個別機能訓練の実施と受入れ体制を円滑に執り行えるよう各部署との連携を図る。
- ・ 各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。
- ・ 第1デイからの積極的な利用者移行、ショートステイサービスとの併用利用、サ高住の利用者の受入れを行う。
- ・ 重度利用者、医療看護が必要な利用者(在宅酸素、ストマ、胃瘻等…)を可能な限り受入れ、介護職・看護職が連携して適切な対応が行えるような組織作りを行う。
- ・ 運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間	
基本事業	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00	
予防通所介護事業	入浴	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	運動器機能向上	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00
	給食	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護事業	入浴	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用者定員：40名

○稼働率

- ・ 1日平均 31名以上 月平均稼働率 80%

○営業活動

- ・ 月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域(加西市、神吉町、志方町等を重点に置く)の居宅事業所・地域包括への営業訪問活動を行う。
- ・ 毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所、地域包括へ郵送を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・ 年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。

○看護・介護職員

- ・ 年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・ 谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。

3. 年間行事・活動予定

※新型コロナウイルス感染予防の為変更の可能性あり

月	年間行事	行事食
4月	花見会(園庭) 花見喫茶 花見ドライブ	花見弁当
5月	セントラルパーク外出 新緑散策	行楽弁当
6月	紫陽花鑑賞	おはぎ
7月	谷内小学校交流会	うなぎ(土用の丑)
8月	夏祭り そうめん流し	夏祭りメニュー
9月	敬老会	敬老祝い膳、おはぎ
10月	セントラルパーク外出 コスモス鑑賞	スイートポテト(さつま芋)
11月	紅葉ドライブ	行楽弁当
12月	クリスマス会	クリスマスケーキ
1月	初詣 十日ゑびす	白玉ぜんざい
2月	節分 豆まき 梅見ドライブ	恵方巻き、バレンタイン
3月	谷内小学校交流会	おはぎ
備考	おやつレク(毎月) 創作レク(毎月) 絵手紙教室(毎月) 個別クラブ(随時)…カラオケ、クラフト、書道・写経、水彩画、囲碁、将棋 オセロ等 地域ボランティア(随時)	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

エルグラン清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスの提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤独感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- 新規利用者の獲得に向けて営業活動の継続、新規居宅の獲得にも取り組んでいく。
- 業務を定期的に見直し変化や状況に応じた対策を講じる。
- 機能訓練指導員による個々の利用者様の症状や疾患、環境に応じたアプローチを行うことで、心身の機能維持及び日常生活動作の維持向上を目指す。

<経営目標>

・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間	
基本事業	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00	
予防通所 介護事業	入浴	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～12:00
	運動器機能向上	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	13:00～16:00
	給食	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護 事業	入浴	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～12:00
	給食	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	309	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用定員 30名

・稼働率

- 1日平均 20名以上 月平均 69%の稼働率

・営業活動

- 利用者の近況状態や施設の取り組みなどを知ってもらうための訪問活動を定期的に行う。
- 紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り、信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

看護・OT・介護職員

○内部研修を計画的に行い、「人が人を支援する」とはということなのかを考えられる職員の育成を行う。

○感染症対策や防災対策など非常時でも慌てず対応できる職員の育成を図る。

<地域福祉活動>

○コロナ感染防止対策に努めながら、ボランティアの受け入れや訪問販売業者などの社会資源の選定や活用を行う。

○街の福祉相談拠点となれるよう地域の会合に積極的に参加し、地域との結びつきを強化する。

3. 年間行事・活動予定 ※（新型コロナウイルス等の感染状況次第で変更あります）

月	年間行事	行事食
4月	花見・喫茶ツアー	花見弁当
5月	新緑散策・	駄菓子パーティ
6月	ゆかた祭り	お好み焼き（ナリコマ）
7月	七夕・季節飾り作成	おやつイベント
8月	夏祭り	おやつイベント
9月	敬老会	天ぷら定食（ナリコマ）
10月	ハロウィンパーティー	行楽弁当
11月	ケーキイベント、喫茶ツアー	握り寿司（ナリコマ）
12月	クリスマス会	ケーキづくり
1月	初詣	八ツ橋作り
2月	梅の花鑑賞・節分豆まき	バレンタインチョコ
3月	ひな祭り・喫茶ツアー	握り寿司（ナリコマ）
備考	毎月の誕生日会の実施 訪問美容は1カ月に1回程度実施予定 機能訓練を兼ねた外出は毎月適宜行う 毎月お楽しみ会・イベント行事も適宜実施予定 訪問販売（菜の花）※毎月2回 ナリコマ行事食（年3回程度）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

ワックス清掃 132,000円

清住園訪問看護ステーション

1. 運営方針

- ・重症化予防及びリスク管理のもと、きめ細やかな対応と質の高い看護を提供し、在宅療養が長く継続できるようにする。
- ・保健・医療・福祉と連携を密にして、利用者の生活に必要なネットワークサービスが提供できるよう支援する。
- ・地域の関連機関との連携を密にし、選ばれる訪問看護ステーションを目指す。
- ・ICT 導入により業務効率化を図る。

2. 令和 6 年度目標

<部署目標>

- ・在宅医療の担い手として使命感・責任感を持ち、専門的な知識・技術の研鑽に努め関連機関との連携のもと継続的な看護を実践する。
- ・人の潜在能力や自律に働きかけ「あなたたちに頼んでよかった。」と言っていただけの看護を実践する。
- ・サテライトオフィスの開設と ICT 利用により効率的な業務遂行に努め、スキルアップのための時間を確保する。

<経営目標>

○運営日数

- ・営業日：月～金曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)
- ・365日24時間緊急対応

○訪問回数目標

- ・利用者数の定着
看護師一人につき1日4～5件
- ・1ヶ月利用目標回数240回

<人材育成>

○新たな看護知識、スキル及び既存知識等の更新のため、各種研修に参加する。

(1人1研修以上参加)

- ・リハビリ、認知症、難病、精神、ターミナル、口腔ケア等の研修会(随時)
伝達研修(随時)
- ・ステーション勉強会(3回/年) 内容は事例検討会とする。

3. 年間活動計画

月	計 画
4月	
5月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
6月	
7月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
8月	
9月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
10月	
11月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
12月	
1月	
2月	看護協会・訪問看護事業協会等研修会
3月	
備考	保健医療福祉挨拶回り 随時（広報活動） 他訪問看護ステーションとの合同勉強会 随時 中播磨訪問看護ステーション連絡会（4回/年）

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

居宅介護支援事業所清住園

1. 運営方針

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態や悪化防止のため、総合的な支援の提供に努める。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- ・施設内外の研修に積極的に参加して、ケアマネジメント能力を向上させていく。
- ・BCPや高齢者虐待防止等のマニュアルを適宜見直し、迅速に対応できるようにする。
- ・サテライト居宅を活用し、法人内他事業所との連携を密にして、市街地の利用者獲得に努め売上の増加を目指す。

<経営目標>

○運営日数

営業日：293日 月～土曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)

○稼働率

介護支援専門員5名に対して

担当可能件数：要介護200件・要支援40件

目標稼働率：75%(介護給付のみ)

目標件数：要介護150件・要支援40件

<人材育成>

- ・個別ケースの振り返りを全員で行い、個々のマネジメント能力向上や情報共有を図る。
- ・内部の勉強会を持ち回りで担当し、担当した分野の理解力を深め、指導的役割を担う。

<資質向上>

- ・内・外部研修に積極的に参加し、知り得た知識等を部署内で共有していく。
- ・毎月定期的に事例検討会を行い、アセスメント能力向上やケアプランの質の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・地域包括支援センター、地域関係者からの困難事例の受入れ。
- ・地域包括支援センター主催の研修会に参加する。

3. 年間研修計画

月	計画
4月	第1回中央ブロックケアプラン研修会
5月	第1回東ブロックケアプラン研修会
6月	第1回北ブロックケアプラン研修会
7月	第2回中央・東ブロックケアプラン研修会
8月	第2回北ブロックケアプラン研修会
9月	第3回中央・東ブロックケアプラン研修会
10月	第3回北ブロックケアプラン研修会第
11月	第4回中央ブロックケアプラン研修会
12月	第4回東ブロックケアプラン研修会
1月	第4回北ブロックケアプラン研修会
2月	第5回中央・東ブロックケアプラン研修会
3月	第5回北ブロックケアプラン研修会
備考	ケアマネジメント力向上会議 他事業所との合同事例検討会 その他各種研修に参加予定

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

姫路市四郷・東地域包括支援センター

1. 基本方針

- ・総合相談・支援や権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、認知症高齢者への対応などの包括的支援事業と併せて、介護予防事業や地域・関係機関との連携・ネットワークづくりなどを行い、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から高齢者に対する支援を一体的に行う。
- ・姫路市から委託された公益事業であることを踏まえて行動する。

2. 令和6年度目標

<部署目標>

- ・センター内の連携・協働を一層推し進めながら、センター業務を「チーム」として支えていく。
- ・総合相談のワンストップ窓口に努め、資源の統合を図りながら「個に応じた」多様な活用ができるよう対応する。
- ・「地域包括ケアシステム」の構築に努め、地域に溶け込んで地域の課題解決に積極的に取り組む。
- ・「認知症地域支援体制」の強化をより確実なものにしていく。

<経営目標>

- ・予防ケアプランをできるだけ自前で持ち、稼働率向上に努める。
- ・残業を減らすなど経費削減に努める。
- ・計画的な運営を行い地域包括支援センターとしての経営自立を目指す。

<人材育成>

- ・外部研修に積極的に参加し、関連した技術や制度についての正確な情報を学び、事業所内で共有する。
- ・センター内の勉強会や本体での年間研修計画に基づき、相談業務のスキルアップおよび地域の啓蒙活動等を効率的にできるよう、技術の向上を図る。
- ・カンファレンスで各々の専門知識に基づく意見を出し合い、ケース検討を重ねることで具体的な困難事例への対応スキルを学ぶ。

<地域福祉活動>

- ・地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動などの社会資源を十分活用できるよう継続的な支援をし、体制を整えていく。
- ・総合相談支援業務・権利擁護業務・包括的継続的ケアマネジメント支援業務など、姫路市から委託された地域包括支援センター業務を着実に遂行できるように努める。

- ・介護予防および健康の維持・増進に向けて取り組み、地域で認知症の理解を深めるために住民への啓蒙活動を行い、高齢者にやさしい地域づくりを進めていく。
- ・認知症の程度に応じた医療や介護の情報提供を行い、介護者への支援を行う。
- ・多様な参加の場を支援し、地域住民との連携を定着させる。

3. 年間活動計画

月	計 画
4月	各機関・新役員への挨拶 介護予防教室の計画 小中学校への挨拶 機関誌の発行 自治会・民生委員への挨拶 「介護者の集い」開催
5月	認知症予防教室開催 圏域連絡会議 東ブロック研修
6月	医療機関への挨拶 新規「地域支援体制検討会議」開催
7月	認知症サポーター養成講座 東ブロック研修 機関誌発行
8月	機関誌発行 圏域連絡会議 事業所挨拶 「介護者の集い」開催
9月	東ブロック研修 金融機関・事業所挨拶 R6 上半期の評価
10月	地域相談会（金融機関等） 機関紙発行
11月	機関誌発行 介護者のつどい
12月	介護予防教室 事業所挨拶 「介護者の集い」開催
1月	各機関新年挨拶 新年度活動計画立案 機関誌発行
2月	東ブロック研修 R6 年度評価 圏域連絡会議
3月	役員交代等の情報収集等
備考	随時、いき百立ち上げ支援 認知症サポーター養成講座等 年間を通して地域活動への参加

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし